



多文化共生のまちづくり促進事業 視察報告

多文化共生社会の理解・促進に向けた取り組み

～ちば国際コンベンションビューローの事例～

(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課 主事 鈴木 陽介 (浜松市派遣)

多文化共生の
まちづくり促進事業

日本に居住する外国人住民が定住傾向にある中、多文化共生の社会を目指した地域づくりを支援するため、クリアでは地方公共団体や地域国際化協会などが実施する多文化共生の推進に資する先進的な事業などに対して、多文化共生のまちづくり促進事業助成金（以下、助成金という）を交付しています。

また、過去に助成を行った事業の中でも特に優れた事例については、クリアホームページなどを通じて紹介発信をしています。

ちば国際コンベンションビューロー
の事例

2023年度には、(公財)ちば国際コンベンションビューローが助成金を活用し、「多文化共生社会理解促進出前講座事業」を実施しました。この事業は、小中学生などが外国事情や外国人を取り巻く社会の現状と課題に触れ、講師やクラスメートと意見交換を行うワークショップを実施するというものです。また、考えを共有し他者との違いや共通点といった気づきを得て、自分の将来に関連づけ、自己実現や課題解決のために自らアクションを起こせるようになることを学習目標としていま



インドネシアの紹介をしている様子

す。講座の利用対象は千葉県の小中学生および特別支援学校、盲学校、障害者福祉施設、医療機関などです。

外国人講師による講座では、出身国の文化、歴史、食べ物、習慣、学校生活の違いなどについて、また「外国から見た日本」、外国の医療・福祉事情などについて講師が講義を行います。生徒たちは、自分の興味を持った国について事前に調べた上で、講義に臨みます。受講後には、講師の話聞いて新たに知ったこと、さらに興味を持ったことについて調べ、生徒同士で発表しあう事後学習も行われました。



ベトナムの紹介をしている様子

大穴北小学校での視察

今回は、「多文化共生出前講座（小学生版）」の視察として、千葉県船橋市立大穴北小学校を訪れました。この日は小学5年生の生徒たちが、外国人講師の考え方に触れ、直接コミュニケーションを取りながら多文化理解やキャリアについて考えました。

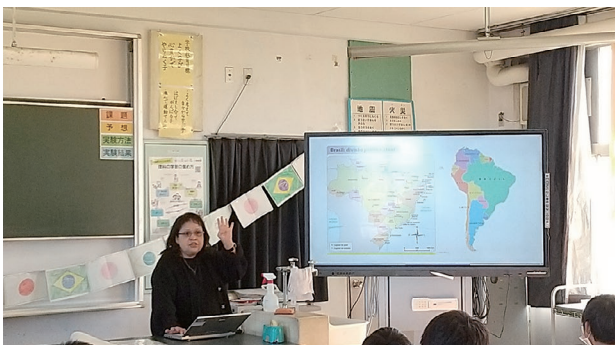
講師は、ブラジル、ベトナム、ペルー、インドネシア、ネパール、パキスタン出身の6人の方でした。講座のテーマは、「広げよう ワールド～世界の国々について、自分が定めたテーマを深めよう～」です。校舎の入り口に到着すると、講師の出身国の国旗を持った生徒たちがお出迎えをしてくれました。また、教室には、日本の国旗と各国の国旗が交互に飾られていました。



日本とインドネシアの国旗で装飾された教室の様子

出前講座では、6カ国の中から生徒が興味のある国を選んで事前に調べ、それぞれの国の基礎知識を学習していたため、生徒たちは積極的に講義を受けていました。講義後の質疑応答では、次々に手が挙がるほどの盛況ぶりでした。

講師は、事前にちば国際コンベンションビューロー主催のファシリテーション研修を受講し、講師同士で意見交換を行っています。そこでは、出前講座での生徒の反応などの振り返りを行っています。そうした試行錯誤を経て作成された講座資料には、写真、映像、音楽などあらゆる媒体を使った工夫がされていました。講師の皆さんは、生徒の前で出身国の話をすることをとても楽しんでおり、終始和やかな雰囲気でした。



ブラジルの紹介をしている様子

おわりに

外国籍の講師と直接の交流を楽しむことで、世界にはたくさんの国や人種、習慣があることに親しみを感じることができ、子どもたちのさらなる興味関心につながる事業だと、今回の視察を通して感じました。

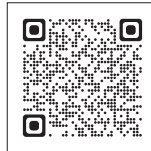
ちば国際コンベンションビューローでは、2023年度小中学校14校、医療機関1か所で行前講座を実施し、

1,500人以上の子どもたちが講座を受けました。多くの生徒たちに多文化共生の意識が醸成されたと思います。

これから先、在留外国人数が増加していく中で、外国籍の方をより身近に感じる機会が増えると思います。生徒たちが、今回の出前講座で学んだことを今後の生活に活かして欲しいと思います。

もっと知りたい人は

多文化共生のまちづくり促進事業の実施について



2025年度も引き続き多文化共生のまちづくり促進事業の実施を予定しています。

事業募集については、自治体、地域国際化協会、市区町村国際交流協会に通知し、こちらのホームページでもお知らせします。

また、クリアでは、医療・保健・福祉分野の事業について積極的に採択しています。

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/kokusai/page_8.html

対象団体	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県、市区町村 地域国際化協会 自治体または、地域国際化協会と連携するNPO法人など
対象事業	<ol style="list-style-type: none"> 医療・保健・福祉支援 防災支援 教育支援 労働環境整備 居住生活支援 外国人住民の自立と社会参画支援 など
助成額	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県、指定都市：上限400万円 市区町村・地域国際化協会など：上限300万円 複数団体の共同事業：上限400万円

まちづくり促進事業の過去の優良事例について



多文化共生のまちづくり促進事業の過去の優良事例について、多文化共生ツールライブラリーにて公開しています。詳細は以下よりご覧いただけます

ので、ぜひご活用ください。

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/search.html?query=&and_or=or&area=&field%5B%5D=101482